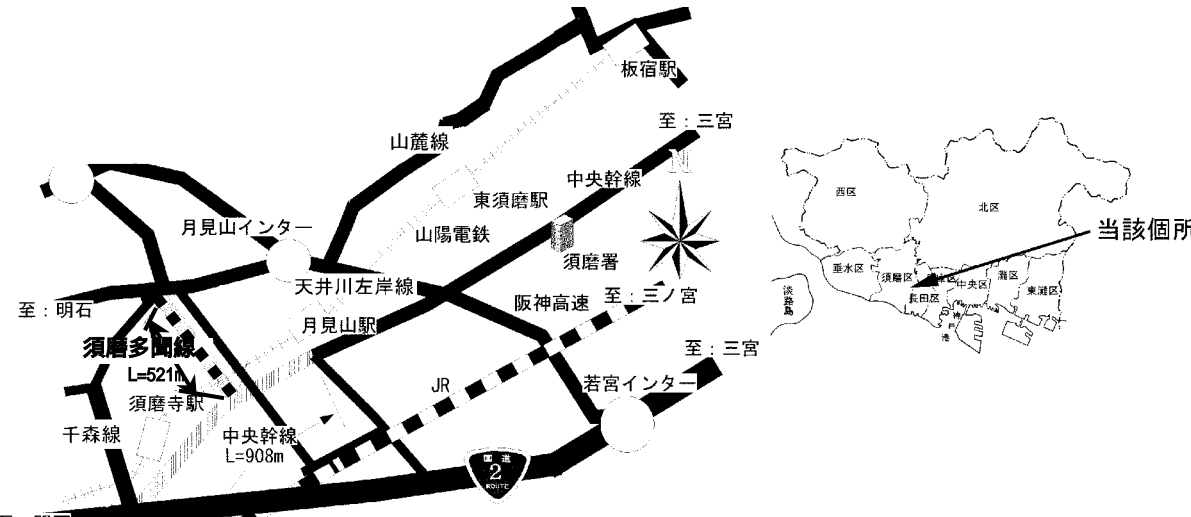


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

| | | | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------------|----|---|--------|
| 事業名 | 須磨多聞線（西須磨） | 事業区分 | 街路 | 事業主体 | 神戸市 |
| 起終点 | 起点：神戸市須磨区天神町5丁目 終点：神戸市須磨区離宮西町1丁目 | | | 延長 | 0.5 km |
| 事業概要 既成市街地における格子状道路網を形成する重要な南北道路であり、現状の交通混雑の緩和を図るため事業を進めている。幅員：27～36m（往復4車線、歩道幅員4.5m） | | | | | |
| H6年度事業化 | | S63年度都市計画決定（H13年度変更） | | H7年度用地着手 | |
| | | | | 工事未着手 | |
| 全体事業費 | | 8.7億円 | | 事業進捗率 | |
| | | | | 46% | |
| 計画交通量 | | 25,981台/日 | | | |
| 費用便益分析結果 | B/C | 総費用 | | 総便益 | |
| | （事業全体） 4.0 | 8.1億円 | | 32.2億円 | |
| | | 事業費：8.1億円 維持管理費：0.4億円 | | 走行時間短縮便益：31.2億円 走行費用減少便益：8億円 交通事故減少便益：1億円 | |
| | | | | 基準年 平成15年 | |
| 事業の効果等 ・ 都市圏の交通円滑化の推進（混雑時旅行速度を改善する） ・ 地域・都市の基盤の形成（市街地の幹線道路密度が1.5km/km ² 以下） | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 環境調査については、兵庫県公害調停委員会での調停の中で、地元と調整しながら進めている。 | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成14年12月に山麓線の天井川左岸線以東の区間が、平成15年4月には千森線が順次完成しており、また、中央幹線の工事も進んでいる。 | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収率は、既に87%に達している。 | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在、兵庫県公害調停委員会にて調停を進めている。環境の現況調査、予測調査を行い、その結果を踏まえて工事に着手する予定である。 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | | | | 特になし | |
| 対応方針 | | 事業継続 | | | |
| 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | | | | |
| 事業概要図  | | | | | |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。